

2026年5月29日

各位

株式会社 みなと銀行  
みなとキャピタル 株式会社

## 「みなと成長企業みらいファンド4号投資事業有限責任組合」の設立について

りそなグループのみなと銀行(社長 持丸 秀樹)およびみなとキャピタル(社長 谷本 誠)は、りそなキャピタル(社長 越智 集一郎)と共同で、成長性の高いミドル・レイターステージ\*企業への投資強化を目的とした「みなと成長企業みらいファンド4号投資事業有限責任組合」を本日、設立しました。

※ ミドルステージ:事業が軌道に乗り、売上拡大と単年度損益の黒字化が進む段階

レイターステージ:ミドルステージ以降、安定した成長が持続し収益化が確立された段階

本ファンドは、地元ベンチャー企業の成長を支援するとともに、IPO や M&A を通じて支援企業の企業価値の最大化を目指します。特に時価総額 100 億円以上が見込まれ、確かな成長性と収益性が期待できる企業を対象に、成長フェーズに応じた伴走支援を実施します。

これまで「みなと成長企業みらいファンド」シリーズでは、モビリティ、環境・新素材、AI・デジタル、IoT・ロボティクスなどの先端領域で事業展開する大学発・技術系スタートアップ企業を中心に、累計 28 件 10 億円の投資を実行し、地域企業の成長を後押ししてきました。今後も本ファンドを通じて、有望企業の企業価値向上を支援し、地域経済の発展に貢献します。

## ファンド概要

名 称	みなと成長企業みらいファンド4号投資事業有限責任組合	
ファンド総額	5億円	
出資者	無限責任 組合員(GP)	みなとキャピタル 株式会社 0.3億円
	有限責任 組合員(LP)	株式会社 みなと銀行 4.6億円 りそなキャピタル 株式会社 0.1億円
ファンド運営会社	みなとキャピタル 株式会社	
設 立 日	2026年5月29日	
存 続 期 間	10年間	
投 資 対 象	原則、ミドル・レイターステージのベンチャーおよびスタートアップ企業で、IPO または M&A 時の時価総額 100 億円以上が見込める企業	

以上